

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%	の導入や配置を改善して活動場所が広がるように工夫
	2	職員の配置数は適切であるか	86%	14%	職員数に拘ることなく、きめ細やかな支援ができるように個々の職員の資質の向上を図る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%		個別療育では十分なスペースが確保されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか。	100%		コロナ感染予防のため、消毒等を徹底して行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	86%	14%	ケース会や打ち合わせにより、プログラムや個々の支援の改善について話し合いPDCAサイクルを意識化できるように声をかけあっている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		アンケート結果を真摯に受け止め、個々の事例について業務改善につなげていく。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%		自己評価結果は、おたよりとホームページに掲載することで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			現在は第三者評価は未実施である。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		療育担当者は、療育方法や成果などの研鑽を行ってお子さんに楽しくより良い療育ができるように努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%		保護者様や児童生徒のニーズの把握を行い支援計画を作成するように配慮している。さらに、折りに触れたやりとりを心がけていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択し、その上で、具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		児童発達支援計画を共有して計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	33%	立案の段階でのディスカッションを増やしていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	86%	14%	時間や利用者のニーズ個性を考慮して活動場所やプログラムを設定している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%		時間や利用者のニーズ個性を考慮して活動場所やプログラムを検討した支援計画を設定している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		細かな支援内容の情報共有を推進している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		振り返りを日々行い職員で共通理解を図る時間の確保に努めている。
	19	日々の支援に記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		支援終了時の打ち合わせを充実させることで、記録を累積して、よりよい改善が図れると考える。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		6か月に1度のモニタリングにこだわらず、保護者様からのご希望に答えた時期の面談を実施している。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%		サービス担当者会議の参加要請には、できる限り参加するように日程調整を行っている。	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		サービス担当者会議の参加要請には、できる限り参加するように日程調整を行っている。	

関係機関や保護者との連携	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っている	100%		保護者からの情報や保育園等とのやりとりで実態把握をしている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っている	75%	25%	新一年生に対しての支援学校担任等との情報共有を行っている。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%		発達検査や支援の助言等を保護者様から情報提供いただくことで共有し日々の支援に役立っている。
	26	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		100%	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		日々のサービス提供記録への記録や電話相談や送迎時でのやりとりを有効に行い共通理解を図る努力をしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		保護者様のご要望により相談や面談に応じている。
	保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	
30		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これの基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		契約時、計画更新時に支援計画の同意を得ている。
31		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		ご相談時には、誠意をもって対応している。
32		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		100%	保護者会の組織を構成していない。今後必要があるかどうかを模索していきたい。
33		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		管理者を中心に速やかに誠意をもって対応するように努めている。
34		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		月に1回のおたよりで活動概要や行事予定等を発信している。
35		個人情報に十分注意しているか	100%		個人情報の取り扱いには声をかけあって注意している。
36		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		お子さんの意思の発信をくみ取れるように常にお子さんの様子を見て対応できるように心がけて支援している。
37		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%	現状での必要感がないが、今後検討していく。
非常時等の対応		38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25%	75%	定期的な訓練を個別療育でも計画する必要がある。
	40	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	100%		ご契約時、面談時にその都度確認をして事態把握に努めている。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		書面にて調査を行い、職員に周知徹底をしている。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		ヒヤリハットを作成して再発防止、業務改善に活用している。
	43	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		虐待に対する意識は高く、常に声をかけあっている。研修については、虐待防止の研修を年1回行っている。
	44	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%		ご契約時に身体拘束についてのやむを得ない場合についてご説明を行い、保護者様の了解を得ている。